

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

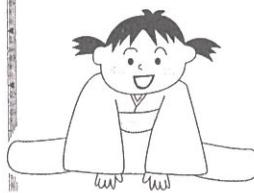


不撓不屈



もう一回確かめよう
大丈夫?
年々思い込みが失敗の元!
イチハラ

い、一途に真っ直ぐに
の、乗り越え切り拓く
し、幸せと喜びを紡ぎ
し、幸せとありがとうの種まき
(十カムラ)



無理せず
あせらず ゆっくりと
人を大事に
自分を大事に
すごせますように
北原紀子

猪突猛進ならぬ
ちょとずつ前進!!
佐々木孝子

この「こう」うつかりが多くなってる
人の言つ事を“しつかり”聞いて
うつかりを少なくしたいです

投げ出さない!
宮下風香

手読み書き
仕事これ大事
熊谷あや子

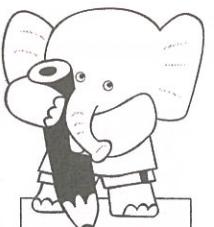
謹賀新年



新しい年が明けました。平成最後の年越しにあたり、この30年を振りかえり感慨深いものがありました。中でも、たび重なる自然災害や、少子高令化の厳しい現実を、目の当たりにするにつけて、ボランティアの重要性が、多くの人々の心の中に深く刻みこまれてきたを感じ、大変嬉しくまた心強く思っております。隔月発行の小紙も、活動の一助になれば幸です。

今年もどうぞ、ご愛読下さい。ボランティアだより編集部 北島 正隆





松川町
おもちゃ図書館
上沼



まつかわこども福祉教室

卷之三

先日、当ボランティアグレープでは
町長表彰をお受けし感謝すると共に、
もう少しがんばらないと、と恐縮して
おると、うです。



この度は、町長表彰をいただきましてありがとうございました。うやうやしくして表記いただけたのは、長年あいむに携わってくださつておられるスタッフの皆様、また参加してくださいる子供さん達のおかげです。

これからも子供さん、障がいをお持ちの方、スタッフ一人一人が楽しみながら、福祉を学び、体験できる「あいむ」が継続していくように頼っています。

活動は20年位になりますが、「ミニ
たんぽぽ」「ミニミニたんぽぽ」のグ
ループのお母さん方に参加、協力をい
ただき、また社協やいろいろな方のあ
と押しで続けていただいている

利用・貸し出しでできるおも
ちゃもお陰様で、かなり豊富
になりました。

“愛夢”^{あいむ}“相手の幸せの為につ
くそうとする、温かい気持ち
と大きな夢を持ちましょう。

三才以下位までのお子様に貸し出しもできますので、オフ時間の午前中、社会福祉センターへ是非、お出かけ下さい。



松川中学校 生徒さん 投稿記事 No.1

今、体育の授業で、ダンスをしています。このダンスは、ペアでおどる場面もあります私はペアダンスが苦手です。が、私のペアは優しく教えてくれます。

おかげで、ペアダンスの所は、上手くできるようになりました。あと、そのペアの子と一緒に個人個人の所を「一緒におどる?」と声てくれました。とても心が温かになりました。

一年二組

宮澤 美優

今月号から新コーナー!!

松川中学校の生徒さんが見つけた
「ふくし」を紹介するコーナーです。

ふだんのくらしのしあわせ「ふくし」
を生徒さんの目線で投稿いただきます。
日常の中で見つけた「がほ」とする場
面や、「ないげない友達とのやりとり」...
「ふくし」の目で周りを見渡せば、身近に
たくさん幸せが見つかるかもしれませんね。



12月15日～17日まで、町内のりんご農家さんのご協力をいたしました愛情たっぷりのりんごを東北にお届けしてきました。今年は、松川町役場の皆さんと協働で仙台市の福住町と石巻市、福島県浪江町にもお届けし交流することが出来ました。ボランティア部が東日本大震災の年から始めた「りんご一箱キャンペーン」も、今回で7回目。毎年りんご農家さんに支えられて千kg以上のりんごをお届けしてきました。

「今年も忘れずいてくれて嬉しい。高校生も一緒に来てくれるなんて感激！」と、福住町の皆さん。平成15年から始まった「福住方式」の防災・減災訓練を楽しみながら行っていること、松川町と築いてきたこれまでの温かい人間関係に心が癒されました。「支援から交流へ」と形を変えて松川と東北の絆の種が大きく育っていることを感じました。女川「命の碑」や74名が犠牲となった大川小学校など視察、持参した蜜蠟と石巻の「ハマナス」でキャンドル作りのワークショップも行いました。町民の皆様に心から感謝申し上げます。

今年も「松川のおいしいりんご」 福住町・石巻市にお届けしてきました

松川高等学校ボランティア部



蜜蠟と石巻のハマナスのキャンドル



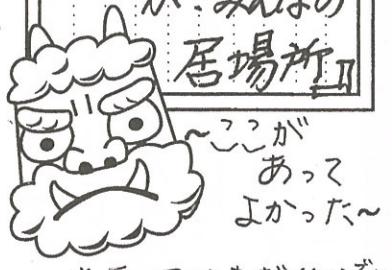
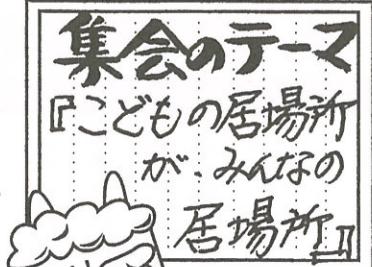
開催日時

平成31年 2月16日(土)
午後0時30分～4時

場所 松川町中央公民館

えみりあス階ホール

今回の集会では、こどもの「場所」を利用してされている方、またその「場所」を支えている方から、お話を聞きします。



飯伊ロック

ボランティア交流研究集会

○ 飯田下伊那地域で活躍中のボランティアさん達の集会が、根羽村で行われます。

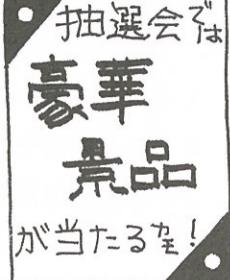
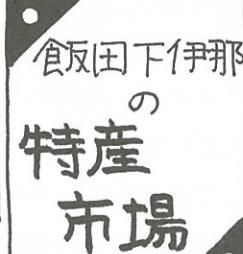
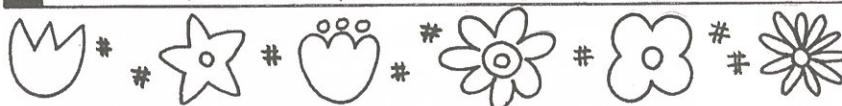
松川高校ボランティア部の皆さんの活動発表も予定しています。ぜひお申し込みください。



● H31年2月24日(日) 11:00 - 15:10

● ▽参加費 = 200円

● ▽1月25日(金)までに 松川町社協(36-3778)
へお申し込みください。(定員10名様です)



使える、使えないではなく「そのセンスが好き」と思ったものってどうしてだうう…いつの間にか手に取つて「わたし が買わなくちゃ！」という気持ちになつています(笑)

「もしかしたら、作つた方と自分にどこか似ているところがあるのかな」となんてところまで、想像をふくらませ、一本のマッチに、タップリ、ワクワクさせてもらつたのでした。

旅行先で、ふと立ち寄つたみやげ屋で素敵な出会いがありました。その名も「人生のともしび」つるマッチ、マッチの頭が、鶴の顔になつているというシンプルなものなんですが、そのアイディアと、ネーミングにぐつと心を掴まれ、即買い。

